

9月



NO.5

令和5年8月7日発行
 中津川市
 発達支援センター
 つくしんぼ

9月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5 理学療法	6 作業療法	7 音楽療法	8	9	10
11 茶話会	12	13	14 音楽療法	15 午後研修のため指導休み	16	17
18 敬老の日	19 健康相談	20	21	22 言語療法	23 秋分の日	24
25	26	27 作業療法	28	29 作業療法	30	



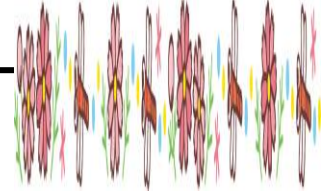
つくしんぼでの様子

- 夏につくしんぼでの活動は、コアラ組さんは水遊びをしています。水の苦手な子もありますが、桶でカラーボールを転がして遊んだり、水鉄砲や玩具で楽しんでいます。午後の麒麟組さんは、スライムや色水遊び等で感触遊びや様々な色の変化を楽しんでいます。
- 7/26（水）水害を想定としての避難訓練を行いました。大雨の中避難するのはとても困難な事です。日頃の準備、早めの行動を心がけることがとても大切です。
- 医大生や高校生の実習がありました。多くの人に発達支援センターつくしんぼを知っていただきながら、地域の方とつながっていきたく思います。

裏面へ続く

お願い

- ・音楽療法・理学療法・言語療法・作業療法・発達相談については、対象児に担当の職員よりお知らせします。
- ・9/15（金）午後は発達支援関係職員研修会を予定しています。午後からの指導についてはお休みにさせていただきます。ご協力をお願いいたします。



ごっこ遊びを豊かに

ことばの発達の中で、お友達とイメージを共有する力もついてくると友だち同士でごっこ遊びを楽しめるようになります。

ひとつのものを何かにみたてるとき、そのイメージは単一ではありません。たとえば、ひとつの丸が描かれていたとしましょう。それは、「アンパン」にでも「皿」にでも「月」にでも「池」にでも「輪ゴム」にでもみたてることができます。ごっこ遊びを楽しむとき、自分は「アンパン」にみたてただけけれども、お友達が「オツキサマ」と言ったので、「ホント、オツキサマだね」と応答できるイメージの柔軟さが求められます。ひとつのものから多様なイメージを広げることができ、しかも友達とそのイメージを共有する力が育った時、ごっこ遊びはさらに発展していくのです。二歳児は、まだそうしたイメージの豊かさがないので、ごっこ遊びに大人の支えが必要です。でも三歳児はこの力が大きく育ちます。たとえば木の葉っぱを自分が「お皿」と見立てていてもお友達が「船にしようよ」と言ったら、「そうだね、船にして浮かべようか」と言うような柔軟さが育ってきます。そのために、子ども同士でのごっこ遊びが発展していくのです。

幼児後期に向けて、ごっこ遊びを豊かに経験させてあげたいものです。

育つ力と育てる力 丸山美和子 「大月書店」より

2才児、3才児、それぞれのお子さんの発達段階があります。それぞれのお子さんの発達に合った関わりをしていきたいものです。

